

第36回ビジネス日本語研究会

外国人留学生の就職の現状と課題について考える

～事例報告～

国際交流センター 多田 苗美

n-tada@swu.ac.jp



SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

昭和女子大学



大学・高校・中学は  
女性のみ

設立：1920年

大学院：2研究科

大学：6学部14学科

- 人間文化学部
- 国際学部
- グローバルビジネス学部
- 人間社会学部
- 食健康科学部
- 環境デザイン学部

高等学校・中学校（中高一貫教育）

小学校・こども園

昭和ボストン（海外キャンパス※）

※アメリカ・マサチューセッツ州ボストン

大学（学部）で約6,000人  
学園全体で9,000人が在籍



## テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)との連携



単位互換制度、ダブルディグリー制度の協定締結  
昭和女子大学敷地内に2019年9月に移転

## 海外協定校との連携



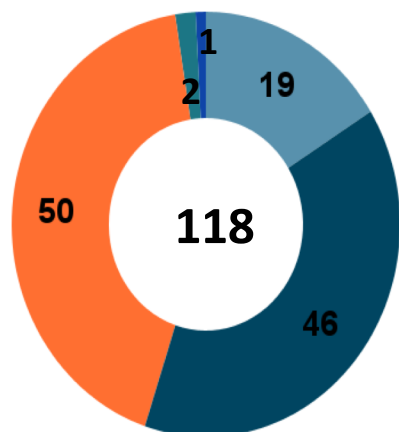
27カ国 49大学



本学で学ぶ外国人留学生は、大きく分けて3種類に分類されます。

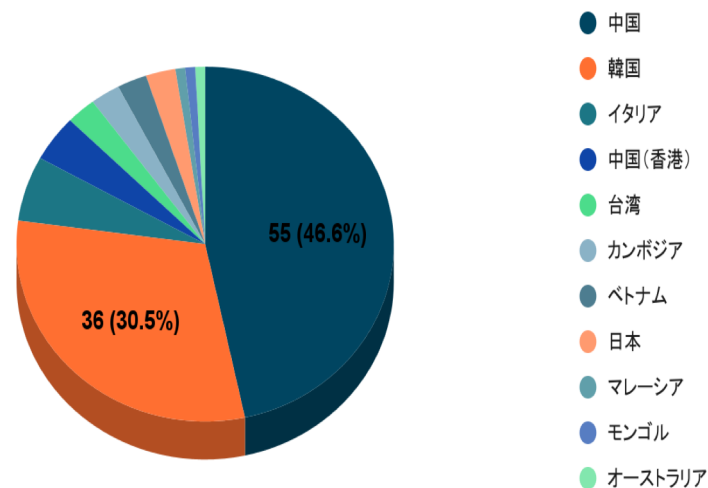
- ① 正規留学生（大学院・学部）
- ② 特別留学生（協定校から1学期または1年学びにくる留学生）
- ③ 特定外国人科目等履修生／特定外国人研究生

留学生種別



● 正規生(大学院) ● 正規生(学部) ● 特別留学生  
● 科目等履修生 ● 研究生

国籍





## キャリア支援の取り組み

### 第1フェーズ

(大学1,2年生、大学院1年生)

- ・日本での就職活動の理解
- ・キャリア観の醸成

### 第2フェーズ

(大学3,4年生、大学院2年生)

- ・内定に向けたインターンシップ
- ・就職活動の実践

## 22年卒業・修了生

19名のうち→日本での就職 4名、母国・外国での就職 2名  
進学 6名、帰国・未定 7名

- 納得のいく企業の内定が得られなければ帰国するつもりでいる
- 日々の学業に手いっぱい、早めの就活準備に余裕がない学生もいる
- 優秀な学生であっても、就労ビザへの在留資格変更申請などについて企業側が難色を示し採用に至らないケースもある



## 韓国からの留学生

- 就活を留学の大きな目的として来日
- 採用方針が魅力的  
(人物重視、専攻が採用に直結しない等)
- 人材育成が魅力的  
(OJT、メンター制度、ジョブローテーション制度等)
- 職場体験型のインターン制度も参加しやすい
- 留学後も様々な機会を就活に活用  
観光ビザ、特定活動46号、ワーキングホリデー
  - 実際に、原籍大学を卒業後、ワーキングホリデーを使って再来日、就職活動・インターンシップを終え、就職が決まった、と報告にくる学生が増えている



## TUJからの留学生

- できれば日本に留まりたい
- 日本に長く住み続けるために就職したい
- 手厚い就職支援を受けたい

## その他の国からの留学生も含め共通すること

- 日本企業へのステレオタイプなイメージ  
終身雇用、残業が多い、転職がしにくい・・・ブラック？
- 「おもてなし」「ものづくり」「安心・安全」といった漠然としたプラスのイメージ



期間：1日体験型、2日間、宿泊を伴う4日間 など

業界：観光、宿泊、出版・翻訳、介護、建設 など

参加した学生の声：

- ・国とは違って日本の高齢者支援は自立型だと分かった
- ・社長が女性で4人もお子さんがいた。私のモデルケースになった。
- ・鉄道会社でも広告の仕事ができる、業界を広げて就活したい。
- ・会社は小さかったけれど、雰囲気がとてもよかった。
- ・お客さまに「ありがとう」と言われたことが本当に嬉しかった。
- ・自分の日本語力がまだまだだと思った。もっと頑張りたい。

課題：受け入れ企業の開拓、N3+人柄をアピール！